

平成25年度 台東区立台東病院及び老人保健施設千束運営評価表

施設名	台東区立台東病院・老人保健施設千束
事業開始年度	平成21年度
開設者	台東区（区所管：台東区役所健康部健康課・台東区役所福祉部高齢福祉課）
運営事業者	公益社団法人 地域医療振興協会
評価の目的	サービスの提供の効果等について、記録、測定又は分析し、一定の基準に照らして客観的に評価・検証することにより、業務・運営等を継続的に改善させる。
評価内容	○新台東病院等整備基本計画に定める基本理念を的確に反映しているか。
	○基本協定書に基づき、保健・医療・福祉機能とその役割を適切に果たしているか。
	○地域に開かれた施設になっているか。
評価項目	①役割・機能、②効率性・経済性、③計画性・改善状況等

1 事業の概要

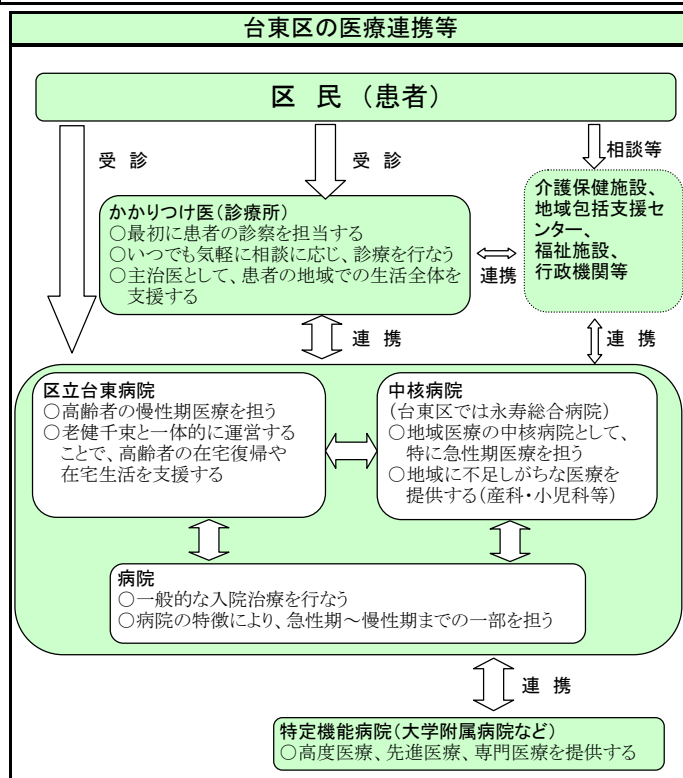
実施内容	
【区立台東病院】	【老人保健施設千束】
診療科目：内科、整形外科、リハビリテーション科、 眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科 病床数：120床（①療養病床80床（うち回復期リハビリテーション病棟40床）、②一般病床40床）	入所定員：150床（一般100床、認知症専門50床） 通所リハビリテーション：1日40人
【地域連携相談室（病院と老健の連携業務・相談業務及び在宅生活支援等を担う）】	
病院・老人保健施設の利用者からの相談や、医療機関・福祉サービスとの連携に加え、高齢者の日常生活の支援や介護に関することなど、さまざまな相談に応じる。高齢者が病気になっても在宅に戻るまで住み慣れた地域で安心して切れ目のないサービスを受けられるよう、総合的な連携・調整を行う。	
施設の基本理念（平成16年度に策定した新台東病院等整備基本計画より）	
<p>①高齢者が住み慣れた地域で療養できるよう、高齢者の慢性疾患に対応する病院と在宅復帰に必要な入所施設を一体的に確保します。</p> <p>②高齢者がいつまでも自分らしく、安心した在宅生活を送ることができるよう、保健・医療・福祉サービスを提供します。</p> <p>③高齢者が施設や在宅に必要な保健・医療・福祉サービスを円滑に利用できるよう、サービスの担い手の連携を積極的に推進します。</p> <p>④安心して子育てができるよう、医療の面から支援します。</p> <p>⑤快適な療養環境や質の高いサービスを効率的に提供します。</p> <p>⑥「運営の透明性」、「区民に対する説明責任」を確保し、上記の理念が適切に果たされていることを区民の視点に立って評価・検証します。</p>	

病院運営の基本方針(平成16年度に策定した新台東病院等整備基本計画より)

- ①総合医を中心としたチームによる医療を提供します。
- ②利用者本位で、満足度の高い医療を提供します。
- ③関係機関と連携を推進し、安心して在宅生活を送れるよう、医療を提供します。
- ④医療従事者の育成と資質の向上に努めます。
- ⑤区の小児初期救急医療のしくみを補完します。
- ⑥健全で安定的な経営基盤の確立を図ります。

老健運営の基本方針(平成16年度に策定した新台東病院等整備基本計画より)

- ①良質で包括的なサービスを提供します。
- ②利用者の人格及び意思を尊重し、快適で質の高い療養・介護環境を提供します。
- ③地域の福祉関連機関との連携のもと、円滑な在宅復帰を目指します。
- ④病院に併設されていることの利点を最大限に活かします。
- ⑤健全で安定的な経営基盤の確立を図ります。



2 運営事業者の運営理念等

区立台東病院等 運営理念(平成21年度運営事業者策定)

「ずっとこのまちで暮らし続けたい」を応援します

区立台東病院等 運営基本方針(平成21年度運営事業者策定)

- ①高齢者医療に力をいれます
- ②在宅医療を支援します
- ③まずは受け入れるという姿勢を持ちます
- ④地域と連携してサービスを提供します
- ⑤医療に恵まれない地域の支援を行います

3 事業の現況とその推移

(1) 経営の状況

(単位:千円)

区 分		22年度	23年度	24年度	増 減 24年度-23年度	備考	
事業 収 支 （ 病 院 ）	総 収 益	医業収益	1,388,112	1,426,447	1,565,315	138,868	入院収益、外来収益 等
		医業外収益	309,706	151,963	135,414	△ 16,549	指定管理料、売店等事業収益 等
		計	1,697,819	1,578,410	1,700,729	122,319	
		（うち指定管理料）	224,259	104,973	64,666	△ 40,306	指定管理料(運営経費)
	総 費 用	医業費用	1,601,426	1,578,059	1,673,324	95,266	給与費、材料費、委託費 等
		医業外費用	35,712	38,000	45,963	7,963	売店等事業費用 等
		計	1,637,138	1,616,059	1,719,287	103,228	
	損 益	医業損益	△ 213,314	△ 151,612	△ 108,009	43,603	
		医業外損益	273,995	113,963	89,451	△ 24,512	
		計	60,681	△ 37,649	△ 18,559	19,091	
事業 収 支 （ 老 健 ）	総 収 益	事業収益	786,425	811,780	823,886	12,106	入所・通所リハ収益
		事業外収益	6,585	5,499	4,014	△ 1,484	患者外給食収益 等
		計	793,010	817,279	827,900	10,621	
		（うち指定管理料）	0	0	0	0	
	総 費 用	事業費用	729,502	747,059	733,785	△ 13,274	給与費、材料費、委託費 等
		事業外費用	4,134	3,243	2,583	△ 659	患者外給食委託費 等
		計	733,636	750,302	736,368	△ 13,934	
	損 益	事業損益	56,923	64,721	90,101	25,380	
		事業外損益	2,451	2,256	1,431	△ 825	
		計	59,375	66,977	91,532	24,555	
事業 収 支 （ 合 計 ）	総 収 益	事業収益	2,174,537	2,238,227	2,389,201	150,974	
		事業外収益	316,291	157,462	139,428	△ 18,034	
		計	2,490,829	2,395,688	2,528,629	132,940	
		（うち指定管理料）	224,259	104,973	64,666	△ 40,306	
	総 費 用	事業費用	2,330,928	2,325,118	2,407,110	81,992	
		事業外費用	39,845	41,243	48,546	7,303	
		計	2,370,774	2,366,361	2,455,655	89,295	
	損 益	事業損益	△ 156,391	△ 86,891	△ 17,909	68,982	
		事業外損益	276,446	116,219	90,882	△ 25,337	
		計	120,055	29,328	72,973	43,646	

※端数処理をおこなっていないため、それぞれの合計が一致しない場合がある

【平成24年度収支の概要】

病院) 病院事業収益は17億72万余円、病院事業費用は17億1,928万余円であり、差し引き1,855万余円の純損失となった。なお、23年度協定に基づき、指定管理料(運営経費分)として区から指定管理者に6,466万余円を支払った。

老健) 老健事業収益は8億2,790万余円、老健事業費用は7億3,636万余円であり、差し引き9,153万余円の純利益となった。なお、区から指定管理料(運営経費分)は支払っていない。

(2) 運営の状況

① 役割・機能

区 分		22年度	23年度	24年度	増 減 24年度-23年度	備 考	
病 院 に 関 す る 指 標	体 制	年度末職員数					
		常勤医師	12人	9人	9人	0人	年度末職員数は、 3月1日現在の職員数
		非常勤医師(常勤換算)	5.0人	5.1人	6.9人	1.8人	
		(再掲)総合医	6人	5人	9人	4人	
		看護・介護部門	86人	85人	87人	2人	
	リハビリ部門	17人	20人	19人	△1人		
	病 床	病床利用率	84.5%	82.8%	83.0%	0.2%	病床利用率=(入院延患者数 /延病床数)*100
		一般病床(40床)	83.1%	79.6%	83.9%	4.3%	
		療養病床(40床)	82.7%	86.8%	81.9%	△4.9%	
		回復期リハ(40床)	87.7%	81.9%	83.4%	1.5%	
	新 入	新入院患者数	946人	848人	956人	108人	1年の間に新たに入院された患 者数
		一般病床	711人	656人	817人	161人	
		療養病床	82人	56人	48人	△8人	
		回復期リハ	153人	136人	91人	△45人	
	平 均 在 院 日 数	平均在院日数	39.0日	42.8日	38.0日	△4.8日	平均在院日数=延入院患者数 ÷(新入院患者数+退院患者 数)/2
		一般病床	17.8日	18.7日	17.0日	△1.7日	
		療養病床	121.3日	160.9日	128.5日	△32.4日	
		回復期リハ	76.7日	80.2日	85.1日	4.9日	
	台 東 区 民 の 占 め る 割 合	台東区民の占める割合	83.5%	86.9%	81.9%	△5.0%	
		年齢区分(%)					
		59歳以下	9.5%	5.4%	6.6%	1.2%	
		60歳～69歳	15.8%	10.6%	14.0%	3.4%	
		70歳～79歳	27.4%	28.9%	30.7%	1.8%	
		80歳～89歳	32.3%	37.5%	31.4%	△6.1%	
	回 復 期 病 床	回復期病床					
		在宅復帰率	73.7%	84.1%	86.1%	2.0%	
		1日平均患者数	158.7人	177.0人	222.0人	45.0人	延患者数/外来診療日数(293日)
初診患者数		-	11,746人	12,938人	1,192人	初診料を算定した患者数	
新患率		-	22.5%	19.9%	△2.6%	初診患者数/延患者数*100	
台 東 区 民 の 占 め る 割 合	台東区民の占める割合	88.4%	87.9%	87.3%	△0.6%		
	救急患者数	751人	693人	936人	243人		
	救急車受入数	298人	204人	251人	47人		
	来院患者数	453人	489人	685人	196人		

区 分		22年度	23年度	24年度	増 減 24年度-23年度	備考	
老 健 に 関 す る 指 標	体 制	年度末職員数					
		医師数	2人	2人	2人	0人	
		介護・(看護)部門	72人	69人	64人	△ 5人	
		リハビリスタッフ	7人	9人	6人	△ 3人	
	入 所	入所利用率(150床)	91.0%	91.4%	92.6%	1.2%	(入所延患者数/延ベッド数)*100
		入所のうち、短期利用者数(1日)	5.2人	5.9人	6.9人	1.0人	
		在所日数(短期入所を除く)	275.0日	294.1日	273.2日	△ 20.9日	年度末在所者における在所日数の平均
		台東区民の占める割合	95.5%	99.9%	99.9%	0.0%	
		年齢区分(%)					
		65歳～69歳	2.0%	2.0%	3.0%	1.0%	
		70歳～74歳	4.0%	4.0%	3.0%	△1.0%	
		75歳～79歳	13.0%	11.0%	4.0%	△7.0%	
		80歳～84歳	18.0%	17.0%	21.0%	4.0%	
		85歳～89歳	26.0%	23.0%	25.0%	2.0%	
	90歳以上	35.0%	40.0%	42.0%	2.0%		
	在宅復帰率	27.0%	24.2%	25.6%	1.4%	退所後に自宅に帰られた利用者の率	
	通 所	1日あたり利用者数(定員40人)	30.6人	34.2人	34.6人	0.4人	延利用者数/運営日数(311日)
台東区民の占める割合		99.5%	100.0%	100.0%	0.0%		

区 分		22年度	23年度	24年度	増 減 24年度-23年度	備考				
連 携 等 に 関 す る 指 標	体 制	地域連携相談室職員数	10.0人	10.0人	10.0人	0.0人				
		ソーシャルワーカー	4.0人	4.0人	4.0人	0.0人				
		支援相談員	2.0人	2.0人	2.0人	0.0人				
		介護支援専門員	2.0人	2.0人	2.0人	0.0人				
		事務員	2.0人	2.0人	2.0人	0.0人				
	医 療 連 携 病 院	紹介状持参患者数	入 院	一般	272人	284人	329人	45人	医師による文書の紹介状(診療情報提供書)を持参した患者数(検査依頼を除く)	
				療養	54人	55人	43人	△ 12人		
				回復期	112人	134人	90人	△ 44人		
				(再掲)診療所から	138人	120人	162人	42人		
				合計	438人	473人	462人	△ 11人		
		外 来	病院から	294人	360人	422人	62人			
			診療所から	316人	306人	383人	77人			
			施設から	29人	39人	36人	△ 3人			
			合計	639人	705人	841人	136人			
		診 療 情 報 提 供 書 を 発 行 し た 患 者 数	入 院	一般	160人	177人	152人	△ 25人		診療情報提供料を算定した患者の実人員数
				療養	44人	48人	49人	1人		
				回復期	96人	122人	113人	△ 9人		
				(再掲)診療所へ	129人	137人	117人	△ 20人		
	合計			300人	347人	314人	△ 33人			
	外 来		病院へ	502人	665人	739人	74人			
			診療所へ	104人	119人	143人	24人			
			施設へ	4人	4人	7人	3人			
			宛名なし等	40人	66人	120人	54人			
			合計	650人	854人	1,009人	155人			
	返 送 患 者 数	入 院	一般	68人	78人	53人	△ 25人	診療情報提供書を持参した患者のうち紹介元医療機関等に返送した入院患者の数		
療養			7人	8人	11人	3人				
回復期			33人	40人	57人	17人				
(再掲)診療所へ			71人	77人	78人	1人				
合計			108人	126人	199人	73人				
緊急一時病床利用実数(3床)		120人	110人	143人	33人					
入 退 所 経 路 (老 健)	入 所 前 の 居 所	自宅	55人	68人	67人	△ 1人				
		福祉施設等	16人	17人	11人	△ 6人				
		台東病院	60人	50人	62人	12人				
		他の病院	49人	32人	35人	3人				
		退所後の行き先								
	自宅	47人	44人	39人	△ 5人					
	福祉施設等	60人	62人	53人	△ 9人					
	台東病院	35人	44人	38人	△ 6人					
	他の病院	10人	6人	18人	12人					
	死亡	22人	26人	26人	0人					
	相 談 件 数	入院相談(一般)	508件	1,260件	1,007件	△ 253件		地域連携相談室で受けた、入院相談(病床区分は主たる相談内容により振り分け、二重に計上していない)と入所・通所相談の件数		
		入院相談(療養)	289件	220件	149件	△ 71件				
		入院相談(回復期)	302件	300件	228件	△ 72件				
入所相談		284件	296件	227件	△ 69件					
通所相談		76件	78件	67件	△ 11件					
調整機能						退院時に患者・家族以外の地域のかかりつけ医・ケアマネ等も含めた多職種間での検討会を実施した件数				
退院時院外カンファ実施件数	61件	57件	124件	67件						
リ ハ ビ リ 機 能	訪問リハ延利用者数	14人	736人	1,062人	326人	平成23年2月より実施				
	在宅リハ利用者数	2人	4人	5人	1人	平成22年10月より実施				

②経営分析

区 分		22年度	23年度	24年度	増 減 24年度-23年度	備考
病	経常収支比率	103.7%	97.7%	98.9%	1.3%	(総収益／総費用)＊100
	総費用に対する指定管理料比率	13.7%	6.5%	3.8%	△2.7%	(指定管理料／総費用)＊100
	医業収益に対する職員給与費比率	81.8%	79.4%	75.5%	△4.0%	(職員給与費／医業収益)＊100
	医業収益に対する委託費比率	7.2%	6.8%	6.5%	△0.3%	(委託費／医業収益)＊100
	医業収益に対する材料費比率	11.0%	9.8%	10.3%	0.5%	(材料費／医業収益)＊100
	病床利用率	84.5%	82.8%	83.0%	0.2%	(入院延患者数／延病床数)＊100
	1日外来患者数	158.7人	177.0人	222.0人	45.0人	延患者数／外来診療日数(295日)
	入院患者1人1日当たり診療収入	25,937円	26,564円	28,138円	1,574円	入院収益／入院延患者数
	外来患者1人1日当たり診療収入	6,268円	6,075円	6,118円	43円	外来収益／外来延患者数
	医師1人1日当たり診療収入	186,727円	251,865円	231,313円	△ 20,552円	(入院収益＋外来収益)／(年延 医師(看護部門職員)数)
院	看護部門1人1日当たり診療収入	40,780円	35,709円	40,843円	5,134円	
	高額医療機器撮影件数					
	CT	1,744件	1,748件	2,091件	343件	【参考:稼働率】(撮影件数/(1日あたり 平均撮影可能件数(CT12件、MRI12 件)＊外来診療日数))＊100
	MRI	1,118件	1,048件	1,916件	868件	
	【参考】CT稼働率	54.1%	54.2%	64.8%	10.6%	
	【参考】MRI稼働率	34.7%	32.5%	59.4%	26.9%	
	他院検査依頼件数(上記の再掲)					
CT	107件	106件	98件	△8件		
MRI	186件	237件	179件	△58件		
老 健	事業収支比率	108.1%	108.9%	112.4%	3.5%	(総収益／総費用)＊100
	総費用に対する指定管理料比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	(指定管理料／総費用)＊100
	事業収益に対する職員給与費比率	60.1%	59.5%	57.0%	△2.6%	(職員給与費／事業収益)＊100
	事業収益に対する委託費比率	16.7%	16.2%	17.3%	1.2%	(委託費／事業収益)＊100
	入所利用率	91.0%	91.4%	92.6%	1.2%	(入所延患者数／延ベッド数)＊100
	1日通所利用者数	30.6人	34.2人	34.6人	0.4人	延利用者数／運営日数(314日)
	入所利用者1人1日当たり事業収益	13,727円	13,905円	13,914円	9円	入所収益／入所延患者数
	通所利用者1人1日当たり事業収益	10,798円	10,641円	10,985円	343円	通所収益／通所延患者数

③計画性・改善状況等

区 分		22年度	23年度	24年度	増 減 24年度-23年度	備考
区 分	区民向け講演会等実施件数					
	待合健康教室	13件	12件	13件	1件	
	その他区民向け講演会等	4件	3件	3件	0件	
	意見箱投書件数	53件	38件	55件	17件	
	苦情	24件	8件	15件	7件	
	助言	13件	17件	21件	4件	
	謝意	16件	13件	19件	6件	
患者書 ア・ ン意 ケ見 トの 結指 果摘 概事 要項	【投書箱意見(患者の声)】 ①苦情 予約した時間の待ち時間について、待ち時間60分以上は待つのが辛いので、せめて30分～40分にならないのでしょうか？ →お待たせいたしました、申し訳ございません。患者数増加で待ち時間が増えている診療科に関しては診療枠拡大の検討をさせていただくほか、売店・エントランスに待合表示板を増設する待ち時間対策をさせていただきます。 ②助言 台東病院の職員の方々には、いつも親切で優しい笑顔で接して頂き、大変ありがたく感謝しております。施設についても清潔があり、とても使い易く助かっております。ただしトイレについては、使用の際若干わかりづらい場所に設置されている所もありましたので、案内表示等の看板があれば、更にありがたいと思います。 ③謝意 台東病院は、先生そしてリハビリの先生まで全員がやさしさや思いやりのある方々で、頭が下がる思いです。どうか知らない人も大勢いますので、もう少しアピールして皆さんに台東病院を宣伝して下さい。					

④その他

<p>○居宅支援事業所千束（自主事業） 関係機関と連携しながら「治療から介護へ」「施設ケアから在宅ケアへ」とサービスを提供する上で、より迅速に質の高いサービスを提供するため、居宅支援事業の運営を平成23年12月より開始した。ケアマネジャー(介護支援専門員)1名を常勤配置、平成25年3月末現在の登録者は13名である。</p>
--

4 評価

評価の段階

A	目的・要求等を十分に満たしている状態
B	目的・要求等を概ね満たしている状態
C	目的・要求等に対し補う必要がある状態

(1) 役割・機能に対する評価

① 台東病院の役割・機能に対する評価

(1)-①-1 慢性期医療を担う拠点病院として機能しているか (医療連携については、(1)-③-1で評価します)

【主な参考指標】 利用者数・平均在院日数・年齢区分等(4ページ)

事業者 (自己) 評価	A	根拠	これまで、診療所等からの紹介患者を中心に、医師、看護師、リハビリスタッフなどが連携しながら対応し、患者さんの在宅復帰に向けて取り組んでおり、70%程度が在宅に復帰している。また、24年度から在宅療養支援病院としての取り組みを始めたところでもあり、慢性期医療の拠点病院としての機能を発揮している。
運営 協議会 評価	A	根拠	入院患者の年齢区分は、70歳以上が約8割を占め、新入院患者数は、前年度に比べ増加している。在宅復帰率は、全体で約70%であり、地域の診療所等からの紹介患者を中心に、在宅に戻っている。また、外来患者数は1日あたり220人と、前年度と比べ45人増加しており、診療所からの紹介患者も増えている。さらに、高齢者を中心に対応困難な方も柔軟に受け入れ、在宅に戻っていることが伺え、慢性期医療の中心的な役割を担う病院として、機能していると評価できる。

② 老人保健施設千束の役割・機能に対する評価

(1)-②-1 円滑な在宅復帰に向けた入所施設として機能しているか (地域との連携については、(1)-③-1で評価します)

【主な参考指標】 利用者数・在所日数・在宅復帰率等(5ページ)

事業者 (自己) 評価	A	根拠	入所、通所ともに利用者数が増加し(入所:利用率92.6%、対前年度比+1.2ポイント 通所:一日あたり34.6人、対前年度比+0.4人)、多くの方に利用いただいている。退所前には地域連携相談室が中心となり、退所前カンファレンスの開催を調整し、家族や関係機関の方々と連携をとりながら退所支援等を行っている。そのようなことから、昨年度より在所日数も下がり(273.2日、対前年度比△20.9日)、在宅復帰率も上昇し(25.6%、対前年度比+1.4ポイント)、在宅復帰に向けた取り組みが機能している。
運営 協議会 評価	A	根拠	入所利用率や通所の1日あたりの利用者数は、堅調に推移している。また、在所日数は約21日短くなっており、老健の利用希望者が増加している中、より多くの区民を受け入れられるよう努めている。さらに、在宅復帰率も昨年度に比べわずかながら上昇しており、円滑な在宅復帰に向けた施設として機能している。

③切れ目のないサービスの連携・調整機能に関する評価

(1)－③－1 医療機関等との連携は適切におこなわれているか		
【主な参考指標】 医療連携(病院)等(6ページ)		
事業者 (自己) 評価	A	根拠 退院前カンファレンスや医師と連携担当者の会の実施などに加え、各種研究会や勉強会など実施している。また、病院やかかりつけ医等との医療連携の件数が増加しており、病診・病病連携の強化に取り組んでいる。
運営 協議会 評価	B	根拠 外来部門における、紹介状持参患者数や診療情報提供書の発行患者数は、前年度に比べ増加している。しかし、病診連携の相手方については、台東病院から離れている診療所とは十分に連携できていない状況である。今後とも、台東病院の診療内容や総合診療科の特徴を周知し、在宅患者の受け渡し方や認知症の問題などをテーマとした、病診連携の会議を開催するなど、かかりつけ医や関係機関と積極的にコミュニケーションを図りながら、顔の見える連携の構築に努められたい。

(1)－③－2 台東病院と老人保健施設が連携しながら、互いの機能を効果的に発揮しているか		
【主な参考指標】 入退所経路(老健)等(6ページ)		
事業者 (自己) 評価	A	根拠 病院・老健利用者間移動は、病院→老健が62人、老健→病院が38人であり、病院と老健がお互いの機能を補完しながら、入院患者及び入所者に対し、複合施設の利点を活かした安心感のあるサービスの提供ができています。
運営 協議会 評価	A	根拠 老健入所者の約35%は台東病院より入所している。また、老健退所先の約22%は台東病院であり、病院と老健が併設しているという、施設のメリットを活かした運営が行われている。台東病院から老健に入所する場合は、主にMSW(医療ソーシャルワーカー)が対応を行い、老健から台東病院に入院する場合は、医師や看護師が対応を行っており、お互いのスタッフが連携しながら、切れ目のないサービスを提供できるよう努めている。

(1)－③－3 退院・退所後も、家族等の支援や在宅でのリハビリテーションの支援等により、在宅生活を支援しているか		
【主な参考指標】 リハビリ機能・調整機能等(6ページ)		
事業者 (自己) 評価	B	根拠 訪問リハビリ事業の実績が増加した。(延利用者数1,062人、対前年度比+326人)また、退院退所後の生活をより理解するため、状況に応じ、職員が住居に訪問し、調査、アドバイス等も行い、在宅復帰につなげている。ただ、訪問リハビリ事業について、今後さらに地域への十分な周知及び診療所からの受け入れを行っていききたい。
運営 協議会 評価	B	根拠 退院時に実施している、患者のかかりつけ医やケアマネージャーを含めた多職種間での合同検討会の件数や、訪問リハビリテーションの利用者数は、着実に増加している。しかし、訪問リハビリテーションについては、実施している事業所が、地域に不足しているため、診療所からの紹介も受けられる体制を一層整備していく必要がある。今後とも、理学療法士等を確保・育成しながら、院内のリハビリテーション専門医の協力のもと、地域のリハビリテーション体制の構築に向けて、台東区のリハビリテーションの中核的な役割を果たされたい。

(2) 効率性・経済性に関する評価

① 台東病院の効率性・経済性に関する評価

(2)－①－1 区から提供された施設・機器等を効率的に活用しているか		
【主な参考指標】 経営分析等(7ページ)		
事業者 (自己) 評価	B	根拠 各種研修会、地域連携、院内コンサート等で施設を効率的に利用できた。高額医療検査機器(CT・MRI等)の稼働率が上昇している。ただ共同利用についてはまだ十分ではないので、地域の診療所等に対して、検査の内容について広報を推進していきたい。
運営 協議会 評価	B	根拠 高額医療機器の撮影件数は、前年度に比べ、CT・MRIともに増加しているが、他院からの検査依頼件数は減少しており、地域の医療機関との高額医療機器の共同利用が不十分である。緊急の検査依頼の場合には、短時間で検査結果が依頼主に届くことなど、台東病院の検査の良い点を、地域の診療所等に広報することにより、共同利用件数を増加させることが必要である。

(2)－①－2 事業運営の効率性は発揮されているか		
【主な参考指標】 経営の状況、経営分析等(3、7ページ)		
事業者 (自己) 評価	B	根拠 昨年度に比べ、経営状況は改善された。患者数および利用率も上昇している(入院:利用率83.0%、対前年度比+0.2ポイント 外来:一日あたり222.0人、対前年度比+45.0人)。人件費率については、年々減少しており(81.8→79.4→75.5%)、今後も人員配置等調整を図りながら適正な事業運営に取り組んでいきたい。
運営 協議会 評価	B	根拠 外来患者数や入院の診療単価の増加等によって、事業収支は改善している。病床利用率は、前年度に比べ、全体でわずかながら増加しているが、平均在院日数の最も長い療養病床の利用率が、病床区分の中で最も低くなっており、より一層、病床利用率の向上が求められる。また、人件費率は、徐々に下がってはいるが、依然として高い数値であるため、施設を有効活用しながら、収益を増やし、人件費率の低下に努められたい。

② 老人保健施設千束の効率性・経済性に関する評価

(2)－②－1 区から提供された施設等を効率的に活用しているか。		
【主な参考指標】 利用者数・経営分析等(5、7ページ)		
事業者 (自己) 評価	A	根拠 屋上リハビリ庭園での作物の栽培、入口エントランスでのコンサート、各階食堂でのイベント食等、施設を有効に利用しながら、サービス提供ができ、利用者に好評を得ている。
運営 協議会 評価	A	根拠 事業者評価のとおり、様々な目的で、施設を効率的に利用している。また、事業収支比率が、24年度では112%となっており、収入が費用よりも12%多いことから、効率性は高いと評価できる。

(2)－②－2 事業運営の効率性は発揮されているか		
【主な参考指標】 経営の状況、経営分析等(3、7ページ)		
事業者 (自己) 評価	A	根拠 入所利用率92.6%(対前年度比+1.2ポイント)、通所一日あたり利用者34.6人(対前年度比+0.4人)に達し、収益が増加しており、収支も改善した(事業収支比率112.4%、対前年度比+3.5ポイント)。
運営 協議会 評価	A	根拠 入所利用率や通所利用者数が堅調に推移したこと等によって、事業収支は改善している。入所利用率が向上している状況でありながら、在所日数を短縮し、多くの区民が利用できるよう努めており、効率的な運営が行われていると評価できる。

(3) 計画性・改善状況等に関する評価

(3)－① 前年度の運営協議会の意見を運営に活かしているか

【主な参考指標】 平成24年度 台東区立台東病院及び老人保健施設千束運営評価表

事業者 (自己) 評価	B	根拠	運営協議会からのご意見を運営に活かしていけるよう努力をされており、病院・老健の利用者へのサービスや地域との連携機能の向上などのために、毎年度取り組んでいる。今後の台東病院のあり方については台東区とともに引き続き検討しているところである。
運営 協議会 評価	B	根拠	前年度の運営協議会の評価では、『高額医療機器の共同利用の促進』、『台東病院のあり方の検討』、『地域の関係機関との一層の連携』、『訪問リハビリテーションの充実』が、主な課題として挙がっており、『高額医療機器の共同利用の促進』や『地域の関係機関との一層の連携』、『訪問リハビリテーションの充実』については、それぞれ利用促進や充実に向けて努力していることは理解出来るが、実績データにはまだ表われていないので、更なる工夫や方策を考え、改善に取り組まれない。『台東病院のあり方の検討』については、運営協議会の中でも運営方針を検討したところであり、今後はこれに沿って、運営されたい。

(3)－② 利用者や区民の意見を取り入れ、運営に活かしているか

【主な参考指標】 意見箱投書件数等(8ページ)

事業者 (自己) 評価	A	根拠	24年度は患者満足度調査を行い、いただいたご意見については、運営に活かしている。地域連携相談室や各病棟においても患者利用者さんやその家族と顔の見える関係構築に努め、様々なご相談に応じられる体制をとっている。
運営 協議会 評価	A	根拠	事業者評価のとおり、意見箱や患者満足度調査等により利用者の意見を取り入れ、待合室と売店前に大きな待ち時間の表示板を設ける等、運営に活かす体制を整備しており、運営改善に努めている。今後とも、利用者の家族や地域の関係機関等からもアンケートを取るなど、きめ細かな調査を実施し、より一層、運営改善に努められたい。

(3)－③ 区立病院・施設だからこそできる役割を果たしているか

【主な参考指標】 区民向け講演会等実施件数等(8ページ)

事業者 (自己) 評価	A	根拠	待合健康教室の開催(毎月)、区民への健診サービスの実施、各種研修会等、区民の方々のための事業を実施し、区立病院・施設としての役割を果たしている。
運営 協議会 評価	B	根拠	区民の日頃からの健康作り支援のために、健康測定や健康教室等のイベントを実施している。また、医療・介護関係機関向けに、在宅ケア検討会等を実施している。今後、区が実施する在宅療養の推進事業やがん・糖尿病の予防などの取り組みに、各種専門スタッフが積極的に参加するなど、健康づくり・介護・医療にかかる事業・取り組みを、より一層充実していく必要がある。

(3)－④ 計画性を持って運営しているか

事業者 (自己) 評価	A	根拠	台東病院・老健千束の役割・機能や台東病院の運営方針について、新任研修会、各種研修会、掲示等で周知し、また、経営情報や経営目標を毎月、職員に周知することや医師を含めた多職種によるワークショップを開くなど、計画性を持って病院・施設を運営している。
運営 協議会 評価	A	根拠	月毎に、経営会議や診療会議で経営状況について協議し、その結果をスタッフ全体で共有するとともに、部署ごとに目標管理を行っている。また、定期的に、多職種でのワークショップ等により、部門毎の業務等に関する情報交換を行い、医師を含めたスタッフ全員が、共通認識を持てるよう努めている。

5 総合評価

台東病院については外来患者数は前年度と比べ増加しており、診療所からの紹介患者数も着実に伸びている。

また、新入院患者数については前年度と比べ増加しており、退院される際の在宅復帰率も増加している。

入院患者の状況については、70歳以上の高齢者の方が全体の入院患者の約8割を占めており、慢性期医療を担う病院として機能していると評価できる。

事業収支は、外来患者や入院患者の1人1日当たり診療収入の増加等によって改善されているが、人件費率が依然として高く、療養病床の病床利用率も低下しているため、より一層、収益の増加にも努められたい。

老人保健施設千束については、入所利用率を維持しながら、在所日数の短縮を図り、より多くの区民が利用できるよう努めるとともに、在宅復帰率も上昇しており、円滑な在宅復帰に向けた施設として機能していると評価できる。

また、事業収支は、入所利用率の向上や通所利用者数の増加等によって、収益の増加を図っており、引き続き適正な運営に努められたい。

その他としては、台東病院と老人保健施設千束の間で利用者の移動を行う際には、医師や看護師、MSW等のスタッフが相互に連携しながら、切れ目のないサービスが提供できるよう努めている。また、開設時から設置していた投書箱の他に、患者満足度調査を実施するなど、利用者の意見を取り入れ、運営に活かす体制を整備しており、運営改善に取り組んでいる。

今後とも、地域の医療・介護関係機関等との連携、高額医療機器の共同利用の促進、訪問リハビリテーションの充実等による地域のリハビリテーション体制の構築、健康づくり・介護・医療にかかる事業・取り組みなどを、より一層充実されたい。